

ここからは、私たちに何ができるかを考えてみたいと思います。NICで働くスタッフに聞いてみました。

私たち、こんなことをやっています！

部屋や階段の電気をパチパチ消しています。家族の誰かがつけっぱなしにした電気も消して回っています。もったいないですからね。



グレースィアさん

シャワーの水が温まるまでに出る冷たい水を溜めて、洗濯用に使ったり、歯磨きの時も水はコップに入れて節水しています。夏場は、帰宅した時の暑い部屋の空気をいったん窓を開けて入れ替えてから、クーラーをつけています。



ジュリアさん

電気保温ポットを使わず、お湯を沸かす時は、必要な分だけ沸かして使っています。そして、早起きして明るいうちに見えることはやって、できるだけ電気を使わなくても暮らす生活を心がけています。



ユミコさん



コクさん

冬は暖房をほとんど使いません。(出身地に比べれば名古屋の寒さは我慢できる程度ということもありますが。)夏も、エアコンである程度部屋を涼しくしたら、扇風機に切り替えて節電をしています。夏(7~9月)は、ガスを使わず水温でシャワーを浴びます。湯船につかるのは好きですがお風呂にお湯を張ることはほとんどありません。温泉好きなのでよく温泉に入りに出かけます！パソコンを使うときは、部屋の電気を全部消します。



服や物をリサイクルするようになりました。まだ着られる服をゴミにするのはもったいないと思っていました。



イメイさん

一度購入した服や物はファッションや流行を気にせず、なるべく長く使うようにしています。長く着るために体型を維持することも大切ですね。庭の電気も太陽で発電するソーラーライトの物にしました。



アダムさん

食品を購入する時、手前の方の商品(消費期限が短い品)から買うようにしています。ある日コンビニで、「食品ロス」というポスターが貼ってあり、これはどういう意味かとスマホで調べ「食品ロスを減らす」という取り組みを知りました。とてもいいことだと感じ、それから実践しています。



ナビンさん

私たちが享受している食品をはじめとする物やサービスは、生産・輸送・保管・管理などの工程で多くのエネルギーを消費しています。そのプロセスに思いを巡らせることは、エネルギーや環境との関係について意識することの第一歩。「食品や商品のロスを減らす」、「手元にある物を大切に長く使う」といった行為が、エネルギー消費の縮減、節約につながるのです。

「えっ？なんでこれが？」と思えることも実は「省エネ」と深いつながりがあるなど、これが世界の国々が相互依存関係にあるグローバル化した社会に暮らす今の私たちの現状なのかもしれません。



ホットと一息

専門機関の発表によると、コロナ禍の感染拡大を防ぐため人の移動が制限されたことにより、一時的に空気が浄化されたそうです。このことから、私たち人間の活動が環境にいかにか影響を及ぼすかがうかがえます。翻れば、私たち一人ひとりが本気になって行動すれば、その効果も大いに期待できるということでしょう。



(国立研究開発法人海洋研究開発機構) https://www.jamstec.go.jp/j/about/press_release/20210610/

私たちはどのように関わられるのか

私たちにできることリスト

✓ エネルギーや再生可能エネルギーに関心をもつ・意識する

検索キーワード エネルギー、環境、再生可能エネルギー、SDGs、グリーン、パリ協定、国際協力 など。

✓ 排出量の少ない商品を選んで使う

→ 消費者がCO₂排出量の少ない商品を選んで買うことで、企業がそのような視点を取り入れることを後押しする。
→ ニーズを知り、企業がそのような商品を作るようになる。

消費者の力



* 前述のグリーンリカバリーの考え方は、経済復興だけでなく、私たちの身の回りにも当てはめることができます。

例えば 長年使っていた家電が壊れてしまった → 買い替えの時、より環境に負荷の少ない商品にする。

！ 意識することで、少しずつ身の回りのことから 気候変動対策に貢献 することができます。

✓ 国際協力について学ぶ・知る

→ NGOの活動を調べる。
→ できる支援をする。

特定非営利活動法人 国際協力NGOセンター (JANIC)
Japan NGO Center for International Cooperation
<https://www.janic.org/ngo/>



間接的だけど 私たちにできる大切なこと

✓ 国際情勢の安定、平和な社会の維持

✓ アップサイクル^{*1}やサーキュラーエコノミー^{*2}を支持する

アップサイクルやサーキュラーエコノミーなものを使うようにしてみる。

*1 廃棄物に新たな付加価値を与え、新しい製品として生まれ変わらせること。
*2 従来不要なものとして扱われてきた使用済み廃棄物などを資源として活用し、リサイクルや再利用を通して循環させ、エネルギーや資源の無駄を減らす動きのひとつ。

✓ 企業や自治体の環境情報に関心をもつ

「環境への取り組みや配慮が大きいほど優良」という価値観が定着すれば、企業や自治体による一層の環境行動が期待できます。



その他にも、私たちができることは直接的・間接的にたくさんあります。

国連が「いますぐ動こう、気温上昇を止めるために。個人でできる10の行動」というパンフレットを発行しています。皆さんも、一緒にやってみませんか。

<https://www.unic.or.jp/files/actnow.pdf>



「子どもニック・ニュース」2022年冬号でも、今回の特集と同じテーマを取り上げました。エネルギーや気候変動、SDGsについて、皆さんのご家庭や学校などでちょっとした機会に少しでも話題にし、世代を超えて異なる視点から気づきを共有していただければと思います。名作「星の王子さま」で有名なフランスの作家、サン＝テグジュペリの言葉をご紹介します。「地球は先祖から受け継いでいるのではない、子どもたちから借りたものだ。」どこに暮らしていても私たちにできることがあります。「きれいで、やさしい地球」を次世代に渡すため、できることから一緒に始めてみませんか。



今号のP.7、P.8に関連記事があります。併せてお読みいただくと理解が深まります。

特集

特集